



第15号

2015年(平成27年)3月

発行 中央大学学員会「白門50会」支部
編集 広報部会 外村幸雄(法・政治) 山下史雄(法・政治)
投稿/連絡 山下史雄 E-mail: grande8131pescad@kub.biglobe.ne.jp
※投稿は電子メールで。電子メールの写真は、jpeg お願いします。

卒後40年 特別な事業を

2015年度事業計画について

去る2月21日土曜日に役員会を兼ねた新年会を行い、2015年度事業計画について下記の通り案として提案したいと存じます。

一、総会は6月20日土曜日を第一候補として準備いたします。

記念講演は小野寺会員にお願いし、了承を得ていると塩谷幹事長より提案がありました。「囲碁」がテーマだとのこと。

会場は駿河台記念館、懇親会もその周辺でということになるかと存じます。ぜひ日程の確保をお願いいたします。

二、今年は卒後40周年にあたるということで、例年ない事業を行いたいとの意見があり、花見と小旅行を企画提案します。

花見については、隅田公園の桜を愛でて、神谷バーで懇親会を行うということはいかがという意見がありました。隅田公園には日の出棧橋からの遊覧船で行くというのも良いかもしれません。今年の開花予想は例年より早いそうです。3月20日～4月10日までの間で会場の都合を見計らいご案内できればと存じます。

神谷バー、電気ブラン宴会は以前好評だったこともあり、東京スカイツリーの見学も組み込めば、地方会員のご参加も期待できるのではと存じます。

小旅行については、去年諏訪方面への旅行もしました。今年は北新幹線開通の年でもあり、ぜひ北陸方面への旅行をという意見が賛同を得た案でした。富山には同期の森市長がいますし、金沢には青野君がいます。青野君は、四国に移動するとの情報もありますので、確実なところで富山への旅行を企画してみたいかでしょうか。

新幹線の開通は3月14日です。開通してしばらくは混むでしょうから、ほとぼりの覚める9月以降、秋口の旅行というところでしょうか、企画してご提案させていただきます。

三、さて箱根駅伝ですが、残念ながら今年も予選会からです。

予選会は応援しなくてもいいのではないかと

隅田公園での花見と富山旅行検討

役員会

う意見もありましたが、去年は予選会2回目の良い場所(ゴールの近く)を見つけました。7位という良い結果を得た予選会、途切れさせてはなりませんので、無理のない有志での応援は継続したいと存じます。

ただ、10月にはホームカミングデーも予定されています。17日土曜日8時半が予選会、翌週日曜日25日10時がホームカミングデーとなります。過密な行事参加とならないように配慮します。

以上は、新年会にお越しいただいた会員の皆様と話し合った事項で、あくまでも案です。総会時に提案しますので、皆様のご意見をよろしくお願いいたします。



応援する50会のメンバー

2015年箱根駅伝

あまりにがっかりする結果でした。

箱根1月3日、復路一斉スタートとは言え、目の前を6位で通過し、この調子だと、ゴールには10位以内で入れるのではないかと期待しながら下山しました。結果はご承知の通り、10区で9位から19位へとまさに天国から地獄という結果に終わりました。10区にエントリーした多田君、主将でもあり本人の悔しさはいかばかりのものでしたでしょう。夏前に骨折をし、10月の予選会でも大した成績でもなかったのになぜアンカーという大役を任せただけなのでしょうか。駒不足？

結果はともあれ、我が50会は毎年安定してシード圏に入れるようになるまで応援を続けていきます。今年も立川の予選会から応援することにしましょう。

(山井 俊昭)

20歳で公認会計士試験に合格

本学の高木千愛さん 経理研究所の講座受講生

女子学生がプロボクサーデビュー

2013年の公認会計士試験で中央大学は80名の合格者を出したが、そのうち現役合格者が52.8%（経理研究所）を占め、その中には4名の2年次合格者がいた。4人はいずれも経理研究所の公認会計士講座の受講生で、そのうち唯一の女性が高木千愛さん。

高木さんの母校は県立岐阜商で、公認会計士志望だったお兄さんの影響で簿記部に入った。簿記の大会で全国優勝を繰り返す名門の部で部長も務めた。「経済的な理由などで就職した兄の夢をかなえ、母に楽をさせたい」と公認会計士を目指し始めた。

大学進学か就職かと迷ったが、家族から「夢をかなえてほしい」と背中を押され、中大商学部に進学したという。猛勉強の末、20歳だった2年生の時に難関国家試験のひとつである公認会計士試験に見事合格した。

受験勉強に専念するなかで唯一の息抜きはお兄さんの影響で夢中になったボクシングの観戦。大学時代に後悔を残したくないと公認会計士試験後に大学近くのボクシングジムに入門した。そんな彼女が、なんと3年生の昨年9月にボクシングのプロテストに合格し、プロボクサーライセンスを取得したのである。公認会計士の卵である女子学生プロボクサーの誕生である。

注目のデビュー戦は、昨年11月18日夜、ボクシングの聖地・後樂園ホールで行われた。相手は同じく9月にプロテストに合格した剣道出身の矢吹純さん。名前が「あしたのジョー」の矢吹丈を連想させる。異色のキャリアとあってマスコミの関心を集め、当日はNHK、テレビ朝日、共同通信、時事通信、朝日新聞、読売新聞、東京中日スポーツ、デイリ



初戦勝利はならなかったが…=いずれも後樂園ホールで

初戦はTKO負け

スポーツなど、リングサイドに各新聞・テレビ局の記者・カメラマンが並んだ。高木さんのお母さん、深澤武久中央大学理事長や公認会計士とともに目指した仲間達も応援に駆けつけ、声援をおくった。週6日、朝は10キロのランニング、夕刻からジムでの猛練習を続けてきた成果が試されるデビュー戦である。結果は、残念ながら2回TKO。しかし、高木さんは次の試合を見据えて、翌日1日休んで、練習を再開するという。

第2戦は早くても3～4ヶ月後だというが、日程が決まり次第、50会のメーリングリストでお知らせするので、是非応援していただきたい。

なお、高木さんの活躍は、NHK総合「Sports プラス」でも、二夜連続で放映されるなど、マスコミ各社で取り上げられた。以下は、2014年11月19日読売新聞朝刊の記事である。

公認会計士試験に20歳でスピード合格した中央大3年のプロボクサー高木千愛（ちあき）選手（21）

⇒3面に続く

「ならぬならぬに努力を続けたい」
ボクシングも会計士の勉強も中途半端に

⇒2面から続く

(ワタナベジム)が18日、後樂園ホールでデビュー戦となる50キロ契約4回戦に臨み、2回TKOで敗れた。

対戦相手は、9月のプロテストでともに合格した矢吹純選手(協栄ジム)。序盤は左ストレートを効果的に当てて会場を沸かせたが、相手の強打で1ラウンドからダウンを喫した。2ラウンドも果敢に前に出たが、足が止まったところで連打を浴び、試合を止められた。

高木選手は試合後、「憧れの舞台を楽しめたが、母を始め、応援してくれた人たちに勝利を届けられずに残念。ボクシングも会計士の勉強も中途半端にならないように努力を続けたい」と話していた。

ちなみに2014年の公認会計士試験では、中央大学全体で87名の合格者をだし、そのうち、経理研究所の受講生から1年生合格1名、2年生合格4名をはじめとする

	2014年	2013年	2012年
受験者総数	10,870	13,224	17,894
合格者総数	1,076	1,149	1,301
合格率	10.10%	8.90%	7.50%
中央大学全体	87	80	99

現役合格者35名を輩出している。最近三年間の公認会計士試験の結果は表の通り。

(外村幸雄)



試合に臨む高木千愛さん

旅“諏訪・霧ヶ峰”の思い出

昨年11月の日・月曜の2日間、当会10名の方々と長野県は諏訪と霧ヶ峰を巡ってきた。箱根駅伝ツアーを除いて当会創立以来の温泉宿泊旅行となった。この旅行の企画と実施は、茅野市在住で諏訪御柱祭の木遣りの名人宮坂さんと宮坂さんのお声掛けで当会所属の諏訪市在住の松木さんのご厚意、ご協力、ご手配で実現した▼初日は、普段から観光ガイドをされている宮坂さんのご案内で諏訪信仰の発祥の地である諏訪大社(上社)の歴史に耳を傾け、4つの御柱をはじめ各種の社や雷電為衛門の像・手形などを見学した。社域の神聖さや空気の清浄さを肌身に感じつつ、昼食は車で至近の八ヶ岳を望むお蕎麦屋「福よし」さんでいただいた▼店内は、壁に大きな紙と文字で「本日のメニュー」と「そばの栄養」が貼り出され、確か午後1時を過ぎていたと思うがお客さんでにぎわっていた。予約席に座り、供された鴨せいろの盛りを先ずは汁をつけずに箸で2~3本口に運び蕎麦の香りを味わった。退職後、ソバリエ講座を月1回受講しているがどうやらその仕方が蕎麦を食する楽しみのひとつらしい。会計の際にそば粉の産地を尋ねると

地元産の返事が戻ってきた。満足満点の心と相成った▼蓼科温泉郷に向かう。途中、御柱を丘から落とす場所(木落坂)でお二人より御柱にのる名誉や命がけの運び方などを御柱の模型によってガイドいただきその祭の豪快さを想像した。その後「尖石縄文考古館」にも立ち寄り縄文文化が八ヶ岳山麓に花開いたことを展示物で実感した。ここには、縄文のビーナスといわれる国宝の土偶が展示されている(私たちが訪れた時は他館に貸出中)。ゴルフ場、別荘地を通過し夕方にはホテルに到着、早速温泉に入浴しビールで喉を潤した。季節や曜日にもよるがやはり年配のお客さんが目立ったが、我身を振り返ればこちら門前の一人である▼翌日は、白樺湖を經由し山岳ドライブを楽しみながら霧ヶ峰に向かった。晩秋の寒さを感じつつ、夏にはニッコウキスゲが咲き乱れる峰から八ヶ岳、富士山、南北アルプスの大パノラマを仲間解説付きで眺めることができた。その後、峰を下って諏訪湖が一望できる場所で休憩し、昔湖畔は製糸業の煙突が林立し、起業者の片倉家が世界遺産の富岡製糸場の

⇒終面下に続く

平成 26 年 5 月 24 日の中大評議員会において、中大の理事に選任されました。任期は 3 年です。

今回私が理事に選任されたのは、選出母体である弁護士会の推薦によるものであり、中大に対する特別の貢献があったというような訳ではありません。

私は、夜間部の経済学部出身であり、在学時には特別なサークル活動もした訳ではありません。ご承知のように学校はロックアウトばかりで、授業もあまり出ておりません。この点は皆様も同じかも知れませんね。

という訳で、偶然の成り行き要素が多分にある中で、理事の職を受けることになりました。

偶々今回理事長になりました、元最高裁判事の深澤武久弁護士が、中大玉成会研究室の先輩ということもあり、研究室の後輩としては私一人ということもあり、できる限り職務に精励しなければならないと思っております。

理事の人数は、22 名ですが、理事長 1 名、常任理事 4 名、理事 17 名となり、17 名中 8 名は学長、各学部長、法務研究科長の教学側で占められ、8 名が非教学側であり、最後の 1 名が職員代表として事務局長が就任しています。

理事総数中、教学側が 10 名、非教学側が 11 名、職員側が 1 名という構成比になっています。教学側と非教学側の方針が深刻に対立する場面になると、簡単に決められない構成になっていることを知っておいて下さい。

理事の仕事としては、毎月 1 回開催される理事会に出席することが第 1 です。理事会の開催場所は、多摩校舎と駿河台記念館で 1 ヶ月交代に開催されます。

開催日は、ほぼ毎回月曜日の午後 3 時からです。その外、評議員会と協議員会への出席、学員会幹事会や総会などへの出席は、必須の義務になっています。

この外、学校行事への参加や、学員会各支部行事への参加など、ほとんど毎週何らかの行事への参加があり、予想外に参加しなければならない行事が目白押しです。50 会の清野さんが学員会の事務局長に就任されているので、顔を合わせる機会が多いのですが、同期はやはり有難いです。

中大理事に就任して

根岸 清一

理事会では、学校法人の直面している問題全てにわたって、議論されますが、理事長・常任理事の執行部で揉んだ末に、議題となったものを、議論します。

前任の理事者の期間中に起こった不正入試問題の発覚後の中大の迷走ぶりから、法人のガバナンスの再構築とコンプライアンスの徹底が、今期理事会の最初の大きな議題でした。

この点については、前期中に対策委員会が立ち上がり議論してまとまった提言をもとに、学則の改正と規則の制定を相次いで行って来ました。

最初の半年は、主にこの点と、学費改訂が大きなテーマでした。

それに目途がつき、後は実行の段階に移ることになります。

そこでようやく、既に潜在的には中大のメインテーマであった、都心展開の点が狙上に上ることになります。この点については、中大が過去に投資したデリバティブ商品の 200 億円を超える評価損の問題があり、そもそも貧乏大学である中大としては、都心展開しようにも、土地の取得時点で、入札に連戦連敗が続いてしまっていたことから、中々効果的な手を打つことができませんでした。アベノミクス効果で、評価損はほぼゼロになりましたので、やっと投資的支出が可能になって来ました。ただ、他大学も同じことですから、都心不動産の取得が簡単になったと楽観的にはなれません。

現在、中大の中長期目標を定める（今まで正式には中長期目標自体作成されたことがなかったようです）過程で、大きな目玉として、都心展開やグローバル対応、新学部の設立などが議題に上って来るものと思われれます。

ただ、何れも大テーマであり、学校経営に素人である私にとっては、議論の核を探り当てることさえ難しく感じております。

50 会諸氏のお知恵を借りたく思いますので、どうぞご意見をお寄せいただければ幸いです。私は単に法曹会の代表としてではなく、50 会の代表として理事会に臨んでいるつもりですので、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。以上

⇒ 3 面から続く

保存に寄与しているお話などをうかがい、諏訪市出身で日本の美しい風景画が描き、歌手のさだまさし氏とも親交のある原田泰治さんの記念館に移動した。湖沿いの白亜の建物に人影はなく月曜の休館であることを知った。昼食の時刻にはまだ早い。近くの「SUWA ガラスの里」に進み、国内最大のガラスボールなどの作品や販売品などを見て回り、程なくしてけさホテルから職場に戻った松木さんが見えになった。職場が近くにあるらしい。挨拶を交わして、昼食を湖畔のお蕎麦屋さん「萬盛庵」で食したがお蕎麦屋さんのラーメンが記憶に残った。茅野駅に戻りここで解散し、元気を呼ぶ赤の車で一人中央道を走り家路についた▼宮坂さん、松木さん、ありがとうございました。感謝いたします。親交がより一層深まりました。ご参加の皆さまにお世話になりお礼申しあげます。次の機会にも参加したいと考えています。50 会

の皆様、ご事情の範囲内で当会の各種行事にお運びください。お待ちしております。

塩谷治史記



ツアーに参加した面々